

ジャパンハートクラブ設立 10 周年記念式典のご報告

去る 1 月 25 日、東京都赤坂の ANA インターコンチネンタルホテル東京において、ジャパンハートクラブ設立 10 周年記念式典が催されました。当法人会員の他、心臓リハビリテーション学会員、循環器専門医、健康スポーツ医、健康増進関連企業ならびに行政関係、協賛企業や団体、メディックスクラブ参加者など、160 名を超える方々にご参集頂き、盛大な会となりました。

理事長の片桐敬（昭和大学）の挨拶に続き、公益財団法人日本心臓財団 理事長 矢崎義雄先生、公益財団法人東京都医師会前会長 一般社団法人渋谷区医師会元会長 鈴木聰男先生、内閣官房健康・医療戦略室参事官 藤本康二様、公益財団法人 日本健康スポーツ連盟 理事長 玉利齊様、北京大学 人民医院心研所所長 教授 胡大一様先生より暖かいご祝辞をいただきました。



公益財団法人日本心臓財団
理事長矢崎義雄次先生



心臓リハビリテーション学会
理事長 後藤葉一先生

つづいて、NHK 番組「きょうの健康」でおなじみのフリーアナウンサー、濱中博久様に司会をお願いし、4 名の参加者と「もっとみんなに！ずっと続けたい！体験☆メディックスクラブ」というテーマで、座談会を開催しました。ご参加いただいたのは、長山雅俊副理事長（榊原記念病院）、森下好美様（京都支部・



座談会

左より濱中博久さん、長山雅俊先生、森下好美さん、奥村雅英さん、北澤邦久さん

もりした循環器科クリニック）、奥村雅英理事（メディックスクラブ会員）、北澤邦久様（メディックスクラブ会員）です。実際にメディックスクラブに会員としてご参加いただいている奥村理事、北澤様は、指導者、仲間と共に楽しい雰囲気の中で参加している、自分自身の疾患、



160 名を超える方々にご参集頂きました



片桐敬理事長のご挨拶

さらに、日本心臓リハビリテーション学会理事長 後藤葉一先生から、乾杯のご発声を頂戴いたしました。

その後、当法人前事務局長 伊東春樹（榊原記念病院）による設立までの経緯、現事務局長の牧田茂（埼玉医科大学国際医療センター）による当法人 10 年のあゆみ、また、全国 18 支部の活動状況の報告、スタッフの紹介がされました。

また、千葉県知事 森田健作様、関西医科大学 上田加奈子様からの祝電が披露されました。



榊原記念病院 伊東春樹先生



埼玉医科大学国際医療センター
牧田茂先生



展示コーナーの書籍

も明らかになりました。限られた短い時間ではありましたが、それぞれの立場から貴重なお話をお伺いすることができました。これからも、みなさまの声を活かしたメディックスクラブの運営を進めてまいりたいと思います。参加していただきました皆様、ありがとうございました。

出席者にはジャパンハートクラブ広報誌「ハートフル」が配られ、また、展示コーナーには当法人役員・会員の書いた一般向け医学書、学術論文、パンフレット、教育用 DVD 等が展示されました。

その後、大宮一人副理事長（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院）の閉会のあいさつへと続き、パーティーは成功裏に閉会しました。

会員一同、この設立 10 周年記念パーティーを期に、運動療法を中心に健康維持増進活動と生活習慣病の改善、循環器病の一次・二次予防活動の普及に決意を新たに取り組む所存です。お忙しい中、ご出席頂きました方々へ心から感謝するとともに、関係各位の一層のご理解、ご支援をお願いする次第です。

特定非営利活動法人ジャパンハートクラブ会員・評議員・役員一同

症状に対する心臓リハビリテーションの効果を非常に実感しているといった評価をいただきました。心臓リハビリテーションを継続することで、さまざまな症状が改善され、また一次・二次予防に関する知識を学ぶこともでき、結果的には医療費の削減にもつながることが期待されるといったお話も長山雅俊先生よりお伺いしました。しかし、会場、指導者不足といった問題点があること



大宮一人副理事長の閉会のご挨拶